

土浦市歴史的風致形成建造物 指定台帳

指定番号	第6号	名称	土浦市民会館
指定年月日	令和6年12月25日	所在地	土浦市東真鍋町2-6
所有者氏名	土浦市長	所有者住所	土浦市大和町9-1
建築年代	昭和44年(1969)	規模・構造	鉄筋コンクリート造 三階建
特徴等	<p>設計は当時建築音響工学の先駆者で、早稲田大学大隈記念講堂（重要文化財）の共同設計者で有名な佐藤武夫（1899～1972）。</p> <p>地域の活性化及び文化活動の振興を図り、市民文化の発展に寄与することを目的として設置され、長年にわたり各種公演のほか、文化祭など、市民の舞台芸術の発表会場として親しまれてきた。</p> <p>開館50年を経て、施設の老朽化がみられたことから、平成30年～令和2年（2018～2020）に耐震補強及び大規模改修工事を行った。</p> <p>工事に当たっては、佐藤武夫の設計を尊重し、外観・内装を可能な限り保全しつつ、改修をした。</p>		
指定理由	<p>土浦市歴史的風致維持向上計画で「【真鍋響動】鹿島神社祭礼にみる歴史的風致」及び「【郁文円環】学びと教えの楽しみにみる歴史的風致」に位置づけられており、真鍋のまつりの山車・獅子屋台の巡行ルート上に位置すること、土浦市文化祭の会場となっていることなどから、歴史的風致の維持及び向上を図るために重要な建造物となっているため。</p>		
備考	国登録有形文化財		

■写真



■ 位置図

